



九十九島

〔学校教育目標〕

心豊かで 活力に満ちた 生徒の育成

〔行動目標〕

気づき 考え 実行する

学校HP : <http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-hino/>

文責 前田 英穂 (平成28年12月16日発行)

1年生「ふるさと歴史発見!!」 焼き物の里・戦跡・山城を訪ねて!

1年生が、11/16(水)に実施した「ふるさと歴史発見」学習の成果を新聞にまとめ、今、視聴覚室前の掲示板に掲示してあります。保護者・地域の皆様には、来校の際にご覧ください。(2・3年生も懐かしく自分たちの体験を思い出すよい機会になると思いますよ。)



この「ふるさと歴史発見」学習は、佐世保市教育委員会が、市内中学1年生を対象に実施している体験学習事業です。ふるさと佐世保市の歴史遺産を見学や調査等の体験学習を通して具体的に理解させることで、確かな学力を育成すること。さらに、郷土の歴史や文化に対する理解や郷土に対する誇りと愛情を育み、ふるさと佐世保市の発展を願う態度を培うことを目的としています。以下に、それぞれのコースを引率した先生方からの報告を掲載します。

Aコース「やきものの里を訪ねて」(三川内)

晴天に恵まれ、秋の移ろいを感じながらの三川内散策となりました。うつわ歴史館では三川内焼の作り方を学び、皿山散策では陶祖神社・三川内東窯跡など様々なスポットを見学しながら、三川内焼の歴史や三



陶祖神社鳥居前で全員集合

川内の風土を学ぶことができました。また、平戸松山窯を見学し、実際に焼き物を作る過程や職人技を教えてくださいました。「はまぜん」やトンバイ塀を触ったりすることで、さらに伝統工芸技術を身近に感じる事ができたのではないのでしょうか。生徒達もインタビューをしながら、三川内焼の長く濃い歴史に感銘を受けていた様子でした。佐世保の伝統工芸である三川内焼の魅力を感じるふるさと歴史発見でした。



Bコース「太平洋戦争の傷跡を訪ねて」

無窮洞、針尾送信所、浦頭資料館を見学しました。無窮洞は旧宮村国民学校の避難所として当時の教師と児童によって掘られた防空壕でした。中には教壇や教室、明かり棚などがあり、その精巧さに驚くとともに、当時、勉強もできずに穴を掘り続けた生徒たちの苦労を考えさせられました。針尾送信所では近づくにつれて、その迫力をましていく136mの塔に圧倒されるとともに、内部から見た塔はどこまでも続いているような暗闇に差す窓からの光がとても幻想的でした。浦頭引揚資料館では当時の写真や資料をたくさん見ることができました。生徒たちは終始ガイドの方の説明に耳を傾けメモを取っており、充実した体験学習となりました。



浦頭平和の像前で全員集合



Cコース「中世の山城跡めぐりツアー」

大智庵城跡、直谷城跡を見学しました。大智庵城はお城にしては、少し小さいような印象を受けました。領主は麓に住んでいたようで、戦いがおこったときにこもっていたお城だそうです。宗家と分家の戦いについて、生徒からの質問もあり、生徒の関心の高さが窺えました。直谷城では大智庵城と比べて、登るまでも大変でとても大きな城跡でした。堀や土塁(敵からの防御)や搦手道(逃げ道)、天守郭(天守台)など当時の様子を窺えるものが多く残っていました。2つの城跡をめぐり、平戸松浦氏との関りなど、深い学習をすることができました。



直谷城への階段前で全員集合

